

評価結果のフォローアップ

長岡市通学路の安全対策(防災・安全)

1

成果の達成度

評価委員会(平成30年2月)

| 目標を定量化する指標 | | | | | | | | | |
|------------|--------------------|------|------|-------|------|-------|----------|--------|-------|
| 指標 | | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | | | 目標達成度 |
| | | | 基準年度 | | 目標年度 | | 確定・見込みの別 | 計測時期 | |
| 指標1 | 対策完了率 | 0.0% | H24 | 54.0% | H29 | 83.1% | 見込み | H30.1 | ○ |
| 指標2 | 小学生の登下校時における交通事故件数 | 2件 | H23 | 0件 | H29 | 0件 | 見込み | H29.11 | ○ |

フォローアップ(平成30年8月)



| フォローアップ評価値 | | | | | | | | | |
|------------|--------------------|------|------|-------|------|------------|----------|-------|-------|
| 指標 | | 従前値 | | 目標値 | | フォローアップ評価値 | | | 目標達成度 |
| | | | 基準年度 | | 目標年度 | | 確定・見込みの別 | 計測時期 | |
| 指標1 | 対策完了率 | 0.0% | H24 | 54.0% | H29 | 84.7% | 確定 | H30.8 | ○ |
| 指標2 | 小学生の登下校時における交通事故件数 | 2件 | H23 | 0件 | H29 | 2件 | 確定 | H30.8 | × |

目標達成度の凡例：○ 評価値が目標値を上回った場合
 △ 目標達成はしていないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 × 目標値に達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

2

成果の達成度

■指標1 対策完了率

●長岡市道路管理者分の要対策事業（385件）について
評価

※385か所はH28末時点現在

長岡市通学路安全プログラムの要対策箇所数(H28末時点)

| 全体数量 984か所 | | | | | |
|------------|-----|-------|-----|------------|------|
| 教育委員会 | 警察 | 道路管理者 | | | |
| | | 国 | 新潟県 | 長岡市(385か所) | |
| 54 | 398 | 6 | 141 | 補助対象 | それ以外 |
| | | | | 65 | 320 |

3

成果の達成度

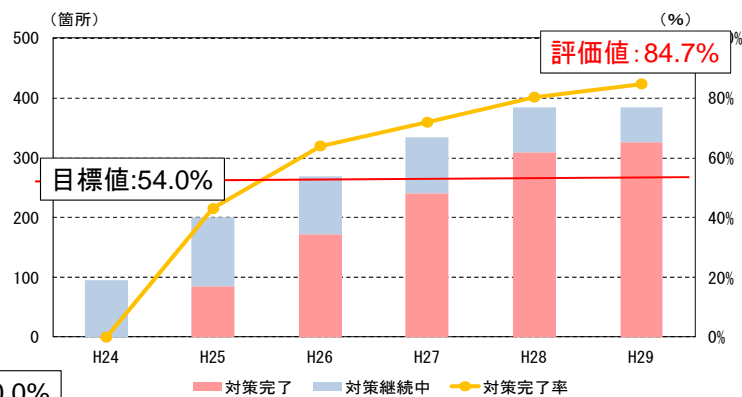
・指標1 対策完了率

達成度○

従前値(H24)
0.0%
(0/385箇所)

目標値(H29)
54.0%
(210/385箇所)

評価値(H29)
84.7%
(326/385箇所)



従前値:0.0%

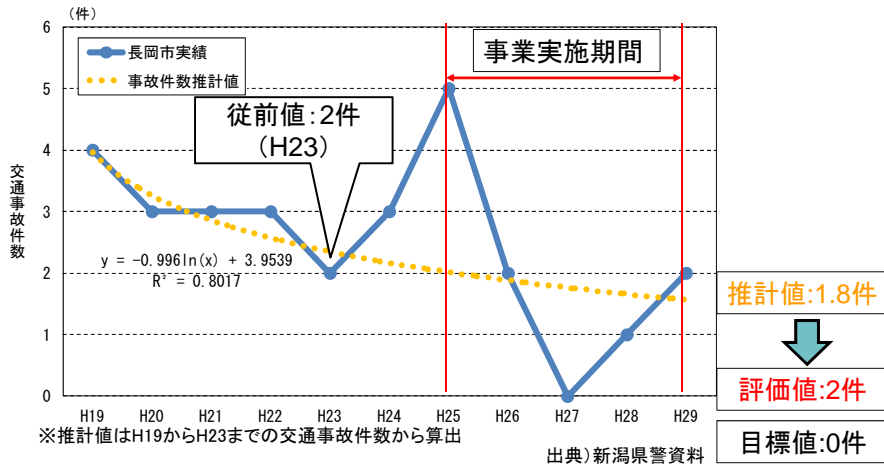
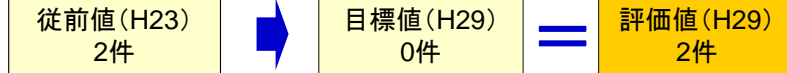
出典)長岡市

4

成果の達成度

・指標2 小学生登下校時における交通事故件数

達成度 ×



5

今後の通学路の安全対策について

| 事業前の課題 | 効果、残された課題 | 効果持続方策 改善方策 | 想定される事業 |
|---------------------|-----------------|--|---|
| 通学路に危険箇所があり、交通事故の懸念 | 達成されたこと その効果 | <ul style="list-style-type: none"> 目標(54%)を上回る84.7%の完了率を達成 7割を超える小学校が安全性が高まったと回答 <p>⇒着実に推進している</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○本整備計画で着手したが、未了である事業 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備 ・路肩整備 ・グリーンベルト整備 ・踏切拡幅整備 ・歩道消雪パイプ整備 ○今後通学路交通安全プログラムで対策が必要と判断される事業 ○ハード整備箇所に対する重点的なソフト施策(通学児童の指導等) |
| | 残された課題、新たな課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・まだ整備が終わっていない危険箇所がある。 ・新たな危険箇所への対策が必要である。 ・ハード整備箇所の効果をソフト施策によってより高め、リスクの最小化を目指す。 <p>⇒優先順位をつけながら、継続して対策実施</p> | |

6

考 察

| 指 標 | | 考 察 |
|-----|-------------------|---|
| 指標1 | 対策完了率 | 通学路交通安全プログラム関係機関が連携し、計画年度において着実な安全対策の取り組みが推進された結果、目標値を上回る事業進捗となった。 |
| 指標2 | 小学生登下校時における交通事故件数 | 検証した結果、事故は2件とも通学路以外の場所で発生したもの 当事業が通学路上に限定する対策であるにもかかわらず、通学路以外の事故が評価値に影響し、目標達成に到らなかった。 しかしながら、平成25年度～平成29年度の計画期間中、事業を実施した箇所での交通事故は発生していないことから、対策は有効だったと考えている。 このことから、指標の設定においては、事業を実施している通学路に限定するなど工夫が必要であった。 次の計画では指標を改め、適切な評価方法を検討したい。 |